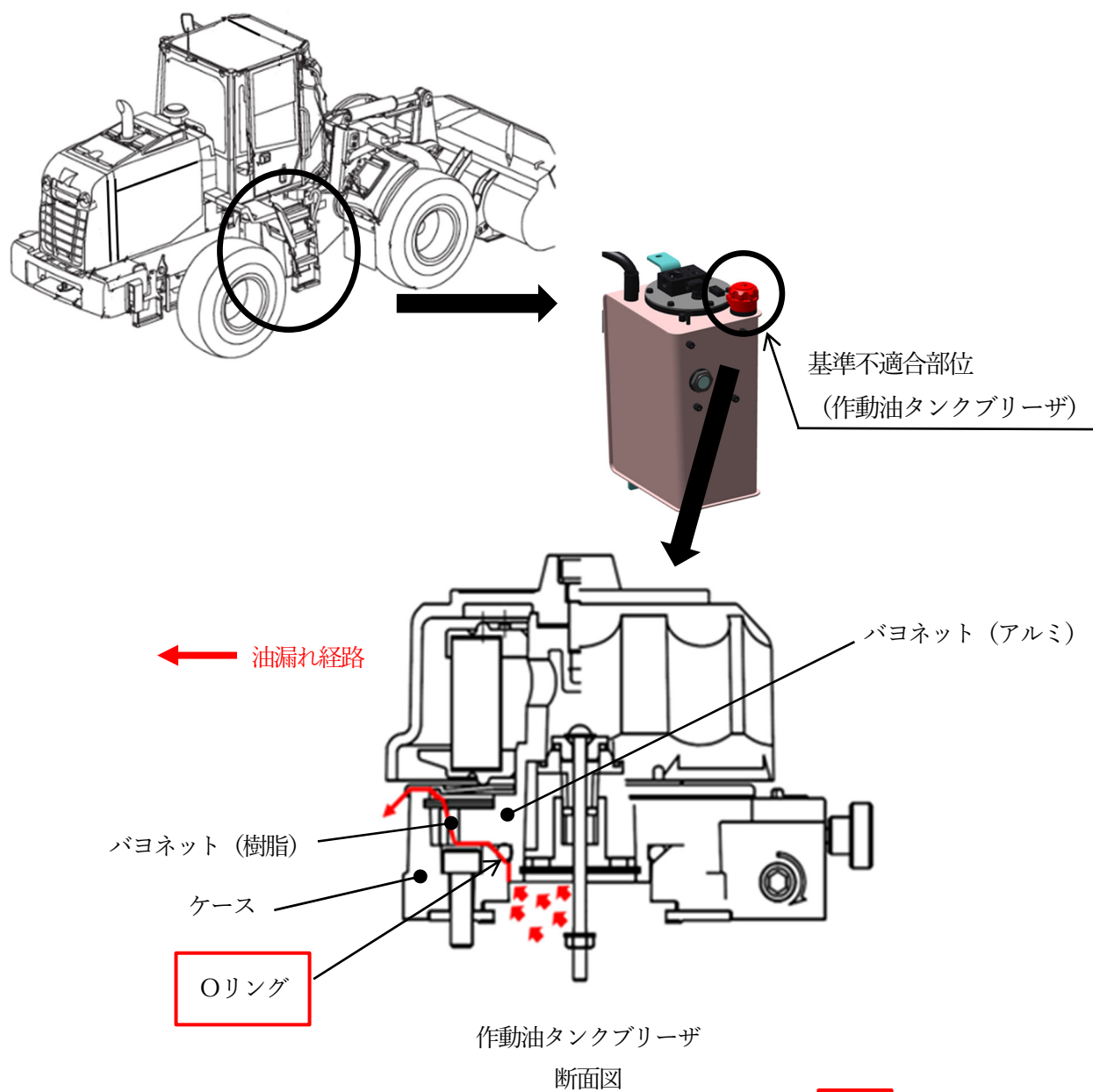


改善箇所説明図



注： Oリング は、交換部品を示す。

ショベル・ローダの作動油タンクブリーザにおいて、カバーとケースを密着させる溝の寸法管理が不適切なため、ケース部のバヨネット（樹脂）とカバー部のバヨネット（アルミ）に隙間が生じているものがある。また、Oリングの寸法検討が不十分のため、つぶし代が小さくなるものがある。

そのため、Oリングで隙間を十分に埋めることができなくなり、そのまま使用を続けると、作動油タンクの内圧により作動油が著しく漏れることがある。

改善措置の内容：全車両、Oリングを対策品に交換する。

識別：キャブ内のヒューズボックスカバーの裏面に青色のペイントを塗布する。